

<事業名> 但馬いいとこ 湯村温泉 98℃テント村

団体名	湯村温泉観光協会
所在地	新温泉町
代表者名	朝野 泰昌

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とともに花壇整備、剪定等を実施し景観形成を図る。 ・湯村温泉街の温泉橋、荒湯付近の花壇に植栽 ・温泉街の中心でもあるポケットパーク広場で観光客や地元住民に楽しんでもらえるテント村を開設 ・テントで地元の特産品や飲食を中心に販売、体験ワークショップを実施。広場や荒湯、河川付近では多様な文化（音楽、芸術、麒麟獅子舞、ダンスなど）を発信 ・夏の昼も夜も涼んでもらえる光る風鈴を設置。夜店と併せ夏祭りの雰囲気を楽しむ。 ・町内全域及び但馬内各関係機関、施設等に出店、出演の募集チラシを配布及び開催チラシを全戸配布、SNS 情報発信 ・他のイベントと共催し相乗効果を図る。 			
地域	新温泉町			
事業の効果	<p>(1) 団体（組織）内の効果</p> <p>2年目となる今年度は認知度も向上し、会員の自覚、意識の向上が図れた。</p> <p>コロナウイルスによる行動制限も緩和に向かい、天候等により中止せざるを得ないこともあったが、開催時には地元住民や店舗、出演者などと協力、連携を図ることが出来た。</p> <p>新聞、雑誌、チラシ、SNS などの情報発信により、地元住民をはじめ観光客の誘客促進の効果を感じることが出来た。</p> <p>事業の継続的な実施が誘客の一つの戦略として位置図けることが出来た。</p> <p>(2) 地域への波及</p> <p>会員、地域住民がともに花壇、植栽などの景観を整備することにより会員、住民、協会の意識が高まり協力体制を構築できた。</p> <p>事業が浸透したことにより、地元商店や住民の協同精神が構築され継続性が図れた。</p> <p>観光客や住民が立ち寄ることにより地元商店や文化をアピールする機会が増し町の活性化が図れた。</p> <p>但馬、鳥取からの出演、出店もあり、広範囲に魅力を再認識、情報発信することができた。</p>			
事業経過	月 日	実施内容	場 所	参加人数
	6月7日	プランター設置、花壇の植栽等	ポケットパーク等	9人
	6月7日	事業詳細検討会議	カフェ98℃	6人
	7～11月	チラシ作成、配布	町内全戸	
	7月23日	「湯村温泉 98℃テント村」開催 （「湯村の夜を楽しもう」同時開催）	ポケットパーク広場等 ポケットパーク広場等	約1,500人
	9月17日	「湯村温泉 98℃テント村」開催	ポケットパーク広場等	約800人

	10月15日	「湯村温泉 98℃テント村」開催	ポケットパーク広場等	約500人
	11月5日	「湯村温泉 98℃テント村」開催	ポケットパーク広場	約400人
	11月19日	「湯村温泉 98℃テント村」開催	ポケットパーク広場等	約800人
	12月23日	事業打合せ	町民センター会議室	
	2月14日	事業打合せ（総括）	町民センター会議室	
協働の相手	<ul style="list-style-type: none"> ・新温泉町商工会 ・湯村温泉旅館飲料組合 ・浜坂観光協会 			
今後の課題等	<p>(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等 誘客促進につなげるべく開催時期、日程、場所、業種、出店・出演者等を再検討し、多様性に富んだ事業として展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な時間、場所の設定。出店・出演者等の多様性 ・広域的な情報発信（新聞、雑誌、チラシ、SNS等） ・他事業（イベント等）とのコラボによる相乗効果 ・来客年齢にこだわらない事業内容の検討（子供から老人まで楽しめる工夫） ・食、文化、芸術等の魅力発信、再発見の拡充 <p>(2) 地域活動を拡大していくための工夫等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客のみならず地域住民が参加しやすく楽しめるイベント内容を検討する ・男女問わず又子供から大人、家族連れやカップルまで満足してもらえる演出や体験など検討する ・参加型コンテンツの創出、ゲーム性やサプライズなども計画 			



4年6月7日 プランター設置



4年7月23日 朝一会場の様子



4年7月23日 湯村の夜を楽しもう



4年11月19日 音楽演奏の様子